

相愛大学研究シーズ集

シーズ名	音楽療法における即興表現の臨床的役割
所属	音楽学部 音楽学科
氏名	石原 興子
<p>【概要】 セラピストとクライアントの関係を構築していく即興音楽療法のプロセスの中で、音や音楽がどのように存在しているのか、また音楽療法のどのような時空間において、音や音楽が人の変容や成長に影響しているのかについて、臨床実践の検証をもとに探求しています。 この研究を通して、すでに欧米諸国で行われている心理的理論を基盤とした、治療的プロセスにおける臨床的質の向上、および、より深いレベルで多様な臨床場面に対応できる、実践力あるセラピストの養成を目指します。これは人の発達や変容に欠かせない芸術活動に潜在する、根源的な表現の意味を探ることにも通じます。 今後さらにこれらの音楽療法の視点を、演奏家、教育・医療・福祉など他の領域へと広く活用していく研究を進めたいと考えます。</p>	
キーワード	音楽療法、即興音楽、創造的表現、対象関係理論